



【特別支援教育におけるICTの可能性】

情報教育推進部 杉本 崇

近年、教育のICT化（情報通信技術化）が急速に進展しており、ICTの導入により、学習環境や学習の質に大きな影が与えられています。特別支援教育は、障害や特別な学習ニーズを持つ子どもたちに対し、その個々の能力に応じた最適な学習環境を提供することを目的としています。この分野において、ICT（情報通信技術）の導入は大きな可能性を秘めており、生徒一人ひとりに合った支援を提供するための強力なツールとなっています。特別支援教育におけるICTの役割は、従来の教材や学習方法では難しかった個別化・多様化に対応する点にあります。ICTは、障害の種類や程度に応じて、学習内容を調整しやすくするツールとして大きく貢献します。例えば、音声認識ソフトや画面リーダー、拡大鏡、電子書籍などは、視覚や聴覚に障害を持つ生徒にとって、情報へのアクセスを容易にします。また、文字入力が難しい場合は、音声入力や特殊なキーボードを利用してコミュニケーションを補助することが可能です。コミュニケーションが困難な生徒にとって、ICTは非常に重要な役割を果たします。例えば、言語によるコミュニケーションが困難な生徒に対しては、絵文字やシンボルを用いた代替コミュニケーションアプリ（AAC: Augmentative and Alternative Communication）があります。これらのツールを通じて、生徒は自分の考えや気持ちを周囲に伝えることができ、社会的な交流や学習活動に積極的に参加する機会を得られます。特別支援教育におけるICTの導入には多くの利点がありますが、いくつかの課題も存在します。まず、すべての学校でICT環境が整っているわけではないこと、そして特別支援が必要な生徒に適したツールやソフトウェアの選定が難しい場合があることです。また、教師自身がICTツールを効果的に活用するための研修やスキルアップが必要不可欠です。しかし、これらの課題を克服すれば、ICTは特別支援教育における学びの可能性をさらに広げることが期待できます。今後、AIやAR（拡張現実）、VR（仮想現実）などの技術が進化することで、さらに多様な支援方法が開発され、生徒一人ひとりのニーズにより細かく対応できるようになるでしょう。

ここまでの文章についてですが、実はAI（チャットGPT）にお手伝いしてもらい作成しました。実際に上記の文章を作成するにはAIが作った文章を推敲する時間も入れて10分ちょっとで完成できました。このように教員の業務でも効果的にICTを活用することで文章の作成が苦手な私でも簡単に文章を作ることができました。

最後になりますが、上述のようにICTの発達によって、デジタル教材の活用が広がってきており、様々な利点がある一方で、アナログ教材（紙の教材、積み木、パズルなど）も特別支援教育において依然として重要な役割を果たしています。デジタル教材の導入に際しては、技術的な課題やコストの問題も存在します。また、子どもたちが画面を長時間見ることによる疲労や、手を使った実践的な体験の不足も懸念されます。そのため、両者を適切に使い分け、個々の子どもに合った最適な学習環境を提供することが課題となります。デジタルとアナログの教材はそれぞれ異なる強みを持っており、特別支援教育においては両者を組み合わせて活用することが効果的となります。それらの点を把握し、児童生徒たちにとってどのような教材が効果的であるか日々模索しながら取り組むことが大切であると考えております。

小学部 学習発表会を終えて

令和6年10月5日(土)、小学部の学習発表会が本校体育館にて行われました。訪問のお子さん2名と、在校生全員で、総勢47名の児童がステージ上で学習の成果を発表しました。児童の御家族の方を始め、関係機関、旧職員など多くの方たちが会場に駆けつけ、子供たちが発表する姿にあたたかい拍手や手拍子などの応援をしてくださいました。

1年生の「はじまるよ、はじまるよ～」という元気な歌声で、学習発表会が始まりました。1・2年生(「おおきなかぶと ゆかいななかまたち」と3・4年生(「どうぶつ島で大冒険〜りゅうを助け出せ!」)の演目では、国語や算数、音楽や体育などそれぞれ日常の学習の中で学んだことや、できるようになったことを発表しました。最後はみんなで協力し合って、かぶを抜いたり、りゅうを助け出したり、見事にミッションをクリアし、演目を終了しました。

5年生と6年生は宿泊研修や見学旅行での楽しかった思い出をステージ上で再現しました。5年生は保養センター駒岡でのひとときを、6年生は小樽水族館や温泉の思い出を表現しました。体育館は観客からの拍手や笑い声で包まれました。

今年のテーマは児童会の書記局メンバーで考えた「かがやけ ちからをあわせ はっぴょうかい」です。そのテーマの通り、一人一人が輝き、協力し合ってきた発表会でした。保護者の皆様には、当日を迎えるに当たって、衣装の準備など様々な御協力をいただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



【小学部主事 三和雪恵】

中学部 2年生宿泊研修を終えて

9月5日(木)バス3台に分乗し、総勢39名で出発しました。新さっぽろアーキシティホテル到着に合わせ、荷物用の台車を傍らにたくさんのホテルマンが出迎えてくれました。

昼食は、アレルギー完全除去のカレーライスとなめこ汁。組み合わせに疑問を持つ間もなく、グループ研修に出かけました。地下鉄チームは、校外学習をいかしスムーズな乗車で南郷7丁目まで移動し、防災センターで様々な体験をしてきました。中でも地震体験は「リアルで怖かった。」とのことでした。一方新さっぽろチームは、サンピアザ水族館を見学し、隣接のBIVIで映像写真撮影やショッピングを満喫したようです。

ユニットバスでどうにか入浴を済ませ、冷やしうどんと生姜焼き定食を食べた後は、就寝まで自由時間。友達の部屋で遊んだり、コンビニで唐揚げを買ったり、アイスを食べに行ったり、夜更かししたりと、「やりたいこと」をかなえることができた模様です。

翌日は、朝食ビュッフェで海鮮、プリン、納豆など好みの食事をし、リニューアルしたての青少年科学館へ。他団体に負けず見学や体験をしました。「まだまだバリアフリーが足りない。」と感想をもった人もいましたが、面白い展示の中あっという間に時が流れ帰校しました。ご家族からは、余韻を引きずりながら、どっぴり疲れて帰宅したと伺っています。

これらの楽しい体験は、文化祭の学年企画で再現する予定です。どうぞお楽しみに。

【中学部 2年学年主任 斎藤 典代】

中学部3年生 見学旅行(9/25~27)を終えて

雨に当たらない私たちは、見学先ではもちろん、バスに乗っているときは雨が降っていても、移動するときは雨がやみます。1日目の見学先、「旭川市科学館サイパル」では、ほぼ貸し切り。2日目午前の「旭山動物園」も普段より空いていたようで、ゆっくり体験や見学、買い物を楽しむことができました。動物もサービスしてくれ、動物とのベストショットがたくさん撮れました。2日目の午後からは「旭川空港」へ。ちょうど離陸する飛行機をテラスに出て見ました。勇気を持ってお願いしたので、グランドスタッフの方々と記念写真を撮ることもできました。宿泊先は「プレミアムホテルCABIN 旭川」の天然温泉付き和室。広い畳の部屋でくつろぎ、二日間、お部屋の温泉を堪能しました。朝食はビュッフェを楽しみ、昼食後も夕食後もアイスクリームのデザート付きで幸せな気持ちでした。最終日は「深川アグリ工房まあぶ」でアイスクリーム作り体験。ニグループに分かれて、協力して材料を計量し、温度管理に気をつけて作りました。できあがったアイスクリームは真っ白で濃厚で、ホテルで食べたものも美味しかったのですが、自分たちで作ったアイスクリームは最高の味でした。バスの運転手さんや添乗員さんはじめ、行く先々でいろいろな方に協力してもらいながら、本当に楽しい旅行ができました。さすが中学3年生。感謝の気持ちをしっかり伝えられたのが立派でした。

【中学部3学年主任 川井姿奈子】



高等部3年生見学旅行を終えて

10月2日~4日の2泊3日で、高3団は洞爺・ニセコ方面へ見学旅行に行ってきました。

元気に学校を出発し、まずは「白老ウポポイ」へ。段階別学習グループに分かれて、国立アイヌ民族博物館や伝統的コタン、工房を見学し、あざらしや熊の毛皮に触ったり、鮭の皮でできた靴を持ったり、アイヌ民族の家を再現した「チセ」に入ったりしました。アイヌの方へのインタビューでは、アイヌ文様の意味を教えてくださいました。鹿肉ステーキやきびご飯のアイヌ弁当も好評でした。午後からは、有珠山ロープウェイ乗車体験！初めての乗り物にみんな大興奮！窓から紅葉が始まりかけた山の景色を眺め、ロープウェイの揺れにスリルを味わいながら楽しいひとときを過ごしました。夜、みんなで見た洞爺湖の美しい花火は、今でも目に焼き付いています。

2日目は、ニセコへGO！高橋牧場では、すっきり晴れた羊蹄山をバックに集合写真を撮影し、ニセコ野菜がおしゃれなカフェ昼食をいただきました。甘露の森に宿泊し、ゆっくりと昆布温泉に浸かった後、コンサートに参加しました。生徒達は、時間いっぱいしっかりと聴き入り、素敵な琴の演奏に魅了されていました。

3日目は、期待度満点の「マナー講座」でした。ニセコビレッジヒルトンにて、お食事のマナーについて実演やイラストで分かりやすく学び、実際にコース料理を食しながら実践してきました。ナイフやフォークを手にする姿もなかなか様になっていました。

洞爺・ニセコの豪華な北海道ツアー、一人ひとりの笑顔がはじけ、心に残る見学旅行となりました。



【高等部3学年主任 二階堂千登世】

11月行事予定

1 金	高2, 3) 学校間交流 (新陽高) 自立活動相談㉔
2 土	
3 日	文化の日
4 月	振替休日
5 火	
6 水	
7 木	
8 金	P T A 事務局会議・防災活動 自立活動相談㉔
9 土	
10 日	
11 月	舎) お楽しみ活動日
12 火	
13 水	
14 木	小) わくわく
15 金	自立活動相談㉔
16 土	
17 日	
18 月	
19 火	
20 水	開校記念日
21 木	
22 金	自立活動相談㉔
23 土	勤労感謝の日
24 日	
25 月	舎) ヴィオラ演奏会
26 火	
27 水	
28 木	小) わくわく
29 金	自立活動相談㉔
30 土	
	※予定の変更は都度連絡いたします。

第30回高等部祭について

今年は高等部の保護者の方々をはじめ、交流のある関係機関の皆様に公開を予定しています。

今年度も、各学年で企画する全てのコーナーを参観、体験することができます。

詳細につきましては、11月下旬に本校ホームページにプログラムを掲載いたしますのでご覧ください。

※高等部保護者の皆様は、後日配付される案内プリントで詳細をご確認ください。

【日時】

1日目 12月 4日(水) 開会式

2日目 12月 5日(木) 生徒活動日

3日目 12月 6日(金)

保護者・関係機関公開日

【場所】

自立活動室 (1年生 アトラクション)

体育館 (2年 製品販売・3年 喫茶、
福祉事業所の販売)

【出入口】

職員玄関

【公開日のお知らせ】

保護者の皆様、関係機関の方、地域の方に日常の学習活動を公開し、本校教育活動について理解していただくこと機会として、公開日を設定しました。公開時間は給食時間(11:30頃～13:00頃)を除いた登校から下校までの時間です。

	小学部	中学部	高等部
11日(月)	2, 6年	3年	全学年
12日(火)	1, 3, 5年	2年	全学年
13日(水)	2, 4, 6年	1, 3年	全学年
14日(木)	3, 5年	1年、 2,3年(普通学級)	全学年
15日(金)	1, 4年	2年、 2,3年(普通学級)	全学年